

## 気を付けたい親の言葉【2／3編】

### 忘れ物をゼロにする魔法の言葉「たら」

しかしながら、「忘れ物をするのは仕方ない」とばかりも言ってはいられません。

では、この問題を解決するには、どうすればよいのでしょうか。

それは、「て」を「たら」に変えることです。

「どうしていつも忘れ物をするの！」と怒る代わりに、「どうしたら忘れ物なくなるかな」と聞くということです。

「どうしたら」というのは、未来に向かって解決を促す質問なので、「どうしたらいいかな？」と聞かれると、頭の中では自動的に「どうしたらいいかな・・・」と小さい子供でも考え始めます。それがまさに、思考力を育てていくチャンスなのです。

そして、具体的な解決方法を考えられるように促し、自分で決められたら（判断力が成長）、それを言葉にする（表現力が育つ）。しかも、自分で決めたことはやる可能性が高いので、お母さんの困りごととも解決する可能性が高くなります。

### 問いかけひとつで成績も上がる

もちろん 1 回ですべてが解決するわけではありません。子供に解決策を考えさせるには、親の忍耐力も必要です。しかし、この忘れ物問題一つとっても、こういう解決を促すアプローチをするかしないかは、大きな差になります。

子供がテストで同じ間違いをする、思うように成績が伸びない……そんなときも、「どうして」と責めるのではなく、「て」を「たら」に変えて、お子さんに考える機会を与えてください。この話は、このカウンセラーの先生が中学受験の保護者講演会でもお話しされているようですが、実際に親子関係がよくなり、子供の成績も上がったと喜ばれているそうですので、ぜひやってみてください。

次の最終回は、「お手伝いで考える力がぐんぐん伸びる」です。